

第 29 号様式 (第 52 条関係)

化学物質管理方法書

〇〇年 〇月 〇日

荒川区長 殿

住 所 東京都荒川区荒川二丁目 2 番 3 号

氏 名 (株)荒川印刷

代表取締役 荒川 太郎

(法人にあつては名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地)

都民の健康と安全を確保する環境に関する条例第 111 条第 2 項の規定により、化学物質管理方法書を作成 (変更) しましたので、次のとおり提出します。

事業所の名称	(株)荒川印刷 荒川工場		
事業所の所在地	荒川区荒川二丁目 2 番 3 号		
工場・指定作業場の別	1 工場		2 指定作業場
業 種	印刷業 (産業分類番号 1931)		
作業の種類	印刷又は製本		
従業員数	25 人 (〇〇年 〇月 〇日現在)	全事業所の常用雇用者数	100 人 (〇〇年 〇月 〇日現在)
化学物質管理方法書	別紙のとおり		
※受付欄			
連絡先	所属 〇〇事業部 氏名 荒川 次郎 電話番号 03-3802-3111 (ファクシミリ番号) (電子メールアドレス)		

- 備考 1 ※印の欄には記入しないこと。
 2 「業種」欄には日本標準産業分類の中分類項目を記入すること。
 3 「作業の種類」欄には条例別表第 1 に掲げる工場の種類又は別表第 2 に掲げる指定作業場のうち該当するものを記入すること。

別紙

化 学 物 質 管 理 方 法 書

化学物質の種類と 使用目的・使用・製造の規模量等		△別紙（１）のとおり
化学物質の取扱工程の内容		△別紙（１）のとおり
管 理 方 法 書	化学物質の排出防止設備等 の内容と保守管理	△別紙（２）のとおり
	化学物質の排出状況の 監視の方法	排ガス排出口での検知管による濃度測定
	化学物質の使用量等の 把握の方法	△別紙（２）のとおり
	化学物質の使用合理化等 排出削減等に関する取組方法	△別紙（２）のとおり
	その他の管理方法	△別紙（２）のとおり
事 故 時 等 の 対 応	事故・災害の防止対策の内容	△別紙（３）のとおり
	事故処理マニュアルとその内容	△別紙（３）のとおり
	化学物質の貯蔵施設の容量	△別紙（３）のとおり
管 理 組 織	管 理 組 織 の 名 称 及 び 管 理 責 任 者	化学物質安全管理委員会 工場長〇〇〇 〇〇〇
	管 理 組 織 図	△別紙（４）のとおり
	従業員教育の内容及び実施方法	△別紙（４）のとおり

備考 △印の欄は、報告書の別紙に添付する各別紙に一連番号をつけた上、該当する別紙の番号を記入すること。